

タスクフォース/小委員会合同会議における検討について

1. 位置付け

自動車リサイクル制度の詳細を検討するにあたっては、産業構造審議会環境部会廃棄物・リサイクル小委員会自動車リサイクルワーキンググループと中央環境審議会廃棄物・リサイクル部会自動車リサイクル専門委員会との合同開催を行うが、特に専門的分野については、産業構造審議会の自動車リサイクルWG及び中央環境審議会の自動車リサイクル専門委員会の下にそれぞれ以下の2つの組織を設置し、合同開催して検討を行うこととなっているところ。

- (1) 特定再資源化等物品関係検討タスクフォース/小委員会（座長：永田勝也早稲田大学教授。委員名簿別添1参照）
- (2) 許可基準等検討タスクフォース/小委員会（座長：酒井伸一国立環境研究所循環型社会形成推進・廃棄物研究センター長。委員名簿別添2参照）

2. 特定再資源化等物品関係検討タスクフォース/小委員会合同会議

< 主要検討事項 >

自動車製造業者等が引き取ってリサイクルする品目（特定再資源化物品）に関して、以下を主要な課題として専門的検討を行う。

シュレッダーダスト

- リサイクル率の具体的な水準（使用済み自動車リサイクルイニシアチブとの整合性を含む）
- サーマルリサイクルの定義・水準の考え方
- リサイクル実施率の考え方
- 適正な施設、引取体制等 等

エアバッグ類

- 指定回収物品として政令指定するエアバッグ類の具体的定義
- リサイクル率の考え方 等

これまでのリサイクル率（自動車以外も含む）の考え方の整理、リサイクル技術・施設の状況、諸外国における動向等を踏まえつつ検討。

< 検討スケジュール >

- 10月22日：第1回合同会議開催
・ 主要検討事項と論点の整理

- ・エアバッグ類の具体的な定義の検討
- ・再資源化等を行う自動車製造業者等の範囲についての検討

1 1月26日：第2回合同会議開催予定

- ・シュレッダーダストリサイクルの技術・施設動向について

その後1月に1回程度開催して来春までを目途に取りまとめを行い、取りまとめ後速やかに必要な省令等を整備する予定。

3. 許可基準等検討タスクフォース/小委員会合同会議

< 主要検討事項 >

解体業及び破碎業の許可基準等に関して、以下を主要な課題として専門的検討を行う。

解体業に係る基準等

- ・解体業に係る許可基準（施設要件、人的要件等）
- ・解体業に係る再資源化基準 等

破碎業に係る基準等

- ・破碎業に係る許可基準
- ・破碎業に係る再資源化基準
- ・破碎前処理の方法 等

その他解体業、破碎業に関すること

< 検討スケジュール >

1 0月28日：第1回合同会議開催

- ・主要検討事項と論点の整理
- ・破碎前処理の方法についての検討
- ・移動報告の遅延に関する都道府県知事への報告についての検討

1 1月下旬から1 2月 全国4ヶ所において地方ヒアリングを実施予定
(別添3参照)

その後1月に1回程度開催して来春までを目途に取りまとめを行い、取りまとめ後速やかに必要な政省令等を整備する予定。

以 上

産業構造審議会環境部会廃棄物・リサイクル小委員会自動車リサイクルWG

特定再資源化等物品関係検討タスクフォース

中央環境審議会廃棄物・リサイクル部会自動車リサイクル専門委員会

特定再資源化等物品関係検討小委員会

合同会議

委員名簿

(敬称略・五十音順)

- | | | |
|----|-------|---------------------------------------|
| 座長 | 永田 勝也 | 早稲田大学理工学部教授 |
| 委員 | 酒井 清行 | 日本ELVリサイクル推進協議会会長 |
| " | 武田 信生 | 京都大学大学院工学研究科教授 |
| " | 辰巳 菊子 | 社団法人日本消費生活アドバイザー・コンサルタント協会理事 |
| " | 土井 鼎 | 社団法人日本鉄リサイクル工業会専務理事 |
| " | 東畑 透 | 社団法人日本自動車工業会リサイクル・廃棄物部会副部長 |
| " | 藤井 美文 | 文教大学国際学部教授 |
| " | 松藤 敏彦 | 北海道大学大学院工学研究科助教授 |
| " | 山本 司 | 社団法人日本自動車工業会自動車リサイクル検討会物流ワーキンググループ副主査 |
| " | 脇山 俊 | 日本自動車輸入組合専務理事 |

中央環境審議会廃棄物・リサイクル部会自動車リサイクル専門委員会

許可基準等検討小委員会

産業構造審議会環境部会廃棄物・リサイクル小委員会自動車リサイクルWG

許可基準等検討タスクフォース合同会議

委員名簿

(敬称略・五十音順)

座長	酒井 伸一	国立環境研究所循環型社会形成推進・廃棄物研究センター長
委員	浅野 悟	横須賀市環境部循環都市推進課技幹
〃	伊藤 進	奈良県生活環境部次長
〃	大塚 元一	社団法人全国産業廃棄物連合会専務理事
〃	郡 篤 孝	同志社大学経済学部教授
〃	酒井 清行	日本ELVリサイクル推進協議会会長
〃	竹内 憲司	神戸大学大学院経済学研究科助教授
〃	土井 鼎	社団法人日本鉄リサイクル工業会専務理事
〃	西村 昭治	社団法人日本自動車整備振興会連合会理事
〃	細田 衛士	慶応義塾大学経済学部長
〃	松藤 康司	福岡大学工学部教授

地方ヒアリングの実施について

1 趣 旨

本合同会議における解体業者、破砕業者の許可基準、再資源化基準等のあり方に関する検討に資するため、全国の関係者から解体、破砕に係る実態等について幅広く聴取する。

2 開催日時及び開催場所

全国4カ所（仙台、東京、大阪、福岡）において開催。

- ・大阪会場 11月29日（金） 阪急グランドビル
- ・仙台会場 12月13日（金） 宮城県庁2階 講堂
- ・東京会場 12月17日（火） 中央省庁合同庁舎5号館2階 講堂
- ・福岡会場 12月19日（木） アクロス福岡

開始時間は午後を予定

3 開催要領

- ・公募により選出された陳述人が、業の実態等について陳述し、出席の合同会議委員から質疑を行う。
- ・陳述人には、陳述と併せて業の実態等に関する資料、文書の提出も受け付ける。提出された資料は、ヒアリングの際の参考資料として合同会議委員に配付するとともに、公開する。

4 その他

ヒアリングは原則公開で行うこととし、一般の傍聴を認める。（予め登録を求める。）